



## 『最高の蒲生野中学校』を高める

今日は1・2年生の皆さんに「修了証」を渡しました。卒業式から約10日。令和7年度が終了しました。終わってみれば、あっという間の一年間ではなかったでしょうか。

今年度の蒲生野中学校を振り返ってみると、全校のトピックスは「BKP」「大阪・関西万博」「スタジウム」「文化祭・体育祭」「3年生を送る会」。「陸上大会」や「駅伝大会」などもありました。

また、日々の授業や部活動。各学年では、「1年生の防災学習」「2年生の職場体験学習」「3年生のふるさと納税の返礼品を考える探究学習」も大きな取組でした。

その他にも様々な取組がありましたが、それぞれの取組は何のために行っているのでしょうか。それぞれの取組にはそれぞれの目的があります。皆さんはその目的を意識しながら行っていましたか。何となくやっていたか。学校としての目的もありますが、個人としても「自分なりの目標やこだわり」を持って取り組んで欲しい、それができれば皆さん一人一人の成長も今までとは違ってくると思います。

さて、「最高の蒲生野中学校をもっと高めて欲しい」という言葉が卒業式の答辞の中にありました。先輩から宿題を貰ったことになりませんが、皆さんにとって「最高の蒲生野中学校」ってどんなイメージですか。「やっぱりこんな学校が最高の学校やな!」というものを皆さんで共有して、再スタートしても良いかも知れませんね。答えは皆さん自身の中にあると思います。難しいですが、産みの苦しみが大きいほど、出来上がったときの喜びや達成感も大きいと思います。頑張ってください。

今年度の大きな事として、仲間を一人亡くしてしまったということがあります。本当につらく悲しいことですが、乗り越えていきたいし、彼もそれを望んでいると思っています。忘れるのではなく、時には思い出して、出会えたことに感謝をして、前向きに生きていきたいと思っています。

最後に、私はこの3月で定年退職となり、皆さんとはお別れです。教員として36年間中学生と一緒に笑ったり泣いたりしてきましたが、最後に蒲生野中学校の皆さんと出会えたことは「最高の教員人生のゴール」となりました。10年後、20年後の皆さんを楽しみにして今後の人生を過ごしていきたいと思っています。

本年度最後の学校だよりになります。保護者の皆様には、この二年間、校長としてお世話になりました。不十分なことも多々あったと思いますが、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜りましたことに、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後とも蒲生野中学校に温かいまなざしを向けていただきますようお願いを申し上げます。簡単措辞ではございますが、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

校長 人見 平安

### 読書コーナー

●1月号で書いていた、蒲生野中学校図書館から借りた、「スピノザの診察室（夏川草介著）」と「ザリガニの鳴くところ（ディールイ・オーイング著）」の2冊、読みました。「スピノザ…」は、人間物語で普通に面白かったし、誰でも楽しめる本だと思います。「ザリガニ…」は、意外にも「すごく面白い本」でした！読む前は、「海外の本は苦手やし、自分に合わなかったら止めれば良いわ。」と思って読み始めましたが、世界的ベストセラーになってるだけあって、ドキドキワクワクしながら読了しました。良かったら読んでみてください！！

ところで先日、ある保護者の方から「この読書コーナーのお勧め本何冊か読んで、〇〇は面白かったけど、●●はちょっと違った!」という声をかけて頂きとても嬉しかったです。

読書は生涯の友。自分を助けてくれたり、励ましてくれたり、人生が豊かになりますよ!